

京都大学文学部 卒業生アンケート 集計結果

平成 30 年 3 月実施

京都大学文学部・文学研究科では、卒業時・修了時にアンケートを実施し、教育研究活動の自己点検・評価に役立てるとともに、その集計結果を公開しています。平成 29 卒業生の皆さん、ご協力ありがとうございました。

【結果の概評】

今年度は卒業生 224 名に対して、199 名より回答を得ることができ、回答率は 88.8%に達した。

回答結果は例年とそう大きくは変わらない。(Q.03)「あなたは文学部で学んだことに満足していますか？」では、約 80%の方が「充分」または「それなり」に「満足している」と回答しており、文学部の教育に対する満足度の高さが窺われる。また、(Q.02)の「京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学部での授業について、自学自習の能力が養われるような形で行われていると思いますか？」について、昨年度と同様、約 70%の方が自学自習の能力が「充分」または「ある程度」養われるような形で行われていると回答しており、本学部の特長であり続けている。

(Q.05)「文学部で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものはありますか？」(複数回答可)では、「一般的な教養」とならんで「自分で問題を発見し、解決を図る能力」が最も高く、これも文学部の教育の特徴が反映されているのではないと思われる。また、文学部のディプロマ・ポリシーの達成状況について尋ねたところ(Q.07-10)、「達成できた」・「ある程度達成できた」を合わせると、すべての質問項目に関して過半数を超えているものの、60%には到達していない状況を鑑みるに、専修配属後の専門教育に工夫が必要と思われる。

【自由記述欄】

(Q.16)「その他意見・要望等がありましたら、ご自由にお書きください。」

全体的な傾向としては、履修科目の選択や研究課題などが自由に決定できること、学生の自主性を重んじる指導を良い点とする回答が多いが、その一方で、高校教育と大学教育のギャップに戸惑ったり、縦や横のつながりを作るのに苦労したりする様子も窺える。ポケゼミを評価する声もあるように、いわゆる高大接続的な視点から教育のあり方を見直す必要もあるように思われる。

以下に各回答を列举する。

・文学部の履修システムに関して、初めは自由選択科目の単位数が多い点に不満を持っていましたが、最終的には専門外の分野も広く学べるという点がとても面白く感じました。比較的簡単に単位が取れるという点も、専門外の分野を学習することへの躊躇を起かさせず、個人的には良かったと思っています。厳しい学部ではないため、正直に言うと何かしらのスキルが飛躍的に向上したとは思えませんが、興味のある授業を自由に選べるところが、ある意味では京大らしくとても好きでした。教養はそれなりに身についたかと思えます。これからも自由で楽しい学部であり続けてほしいです。

・研究し、論文を書くということに、最後までなれることができなかった。4年生の終わり頃に、ようやくレポートを書けるという手応えを得られた程度である。先生たちがあまりに忙しすぎて、状況を相談したり、今やっていることが学問的に正しいのか間違っているのかみてもらうことが不足していた。もっと先生方と話して見識を広げたかったが、それができたのは卒論ゼミの時くらいだったように思う。とにかく先生方は忙しすぎる。

・本当に自由な大学だったので、楽しかった一方で、逆にいえばほとんど全てが自分次第で決まるということでもありました。自由というものの厳しさも実感したように思います。

・あんまり安易に時流に流されすぎないでほしいです。どちらかというと、時流の起源を探ったり、その流れの中に根付く価値観を明らかにして問いただすほうが、文学部としては良いと思います。

・入学時の文学部のガイダンスなどで、京大に入学できる人には2つのタイプがあり、それは、自己分析がしっかりできて自分で考えることができるタイプと暗記マシンのタイプの2つのタイプであって、後者は大学の研究ではつまずき、大学生活のすばらしさを享受できないということを伝えてほしい。今の学校教育では、学校の優等生は後者のタイプになってしまい、そんな新入生がそれまでの延長で大学で生活していると貴重な大学生活の中で得るものが少なくなってしまう。大学生活の早い段階で、そのことを伝えてあげてほしい。

・縦のつながりを強くし、卒業論文や研究の見本を早いうちから目にできる仕組みを作ると良いと思います。

・文学部は様々な専修に分かれているので、横のつながりがほとんどなかったように思います。専修が同じ人たちとは関わりを持ってても、1回生の時に語学で同じクラスの人たちとの関わりは4回生になるころにはほぼ消えていました。他の学部、例えば総合人間科学部などでは1回生の時に合宿などの行事が行われ、親交をより深められていたそうです。せっかく様々な学問を学ぶ人たちが集っているにもかかわらずあまりにももったいなく、かつせっかくの大学生活で孤立してしまいかねないのが本当に残念だと思うので、文学部でも大学主催でのそのような行事がなにかあれば良いなと思います。

・自学自習の理念は理解できるがそれは学校側が学生を放置するということを意味しない。教務含め学校側は学生が自由に勉学に取り組むための準備を怠っていたといわざるを

得ない。勢いだけで入学して浮ついたまま学内での勉強計画を考え切れていない生徒は数多くいる。現在の日本の教育システムをして、高校まで徹底的に管理されてきた生徒が、大学で解放されたとき自由に計画を立てることは極めて難しい。自由な計画の立て方を学んでいないからである。そういった点のケアをしない限りは腐敗した大学生の生産はやまないであろう。学生の腐敗を生徒の自由の結果と切り捨てる考え方を是正していただきたい。

- ・文学部は自学自習精神がそもそもある程度あり、学校に通うモチベーションがある程度ある生徒にとってはより能力を伸ばせる場所。しかし、初期段階で高校とのあまりのギャップに途方に暮れてしまう、あるいは自由＝何もしなくていいと勘違いする人がいるのも事実。最初に文学部がどういう姿勢で学ぶ場所か、ある程度地図やビジョンを提示したら、戸惑わずに過ごせると思う。

- ・ポケゼミは来年度から進学する大学院やその後の進路志望に大きく影響を与えたと考える。教員にとってもコストの大きい講座だったとは思いますが、今後も最先端の研究者と初年次の学生が綿密にコミュニケーションを行うことができ、興味の幅を実践的に広げられる、ポケゼミのような講座は積極的に継続してほしい。

- ・英語力に関しては、大学在学中に最も向上したと思います。英語での授業や留学生との交流、さまざまな留学のプログラムなど、たくさんの機会を提供して頂いたことを本当に感謝しています。ありがとうございました。

- ・クラシスの時間割またはシラバスから各授業のコードを確認できるようにしてください。レポート提出の時だけ紙のシラバスを確認しなければならないのは面倒です。

- ・範にできる教員、あるいは学生と出会うかどうかで、学生生活の、特に学業面における充実度が変わってくるように思います。大学生という、一応は自律的かつ理性的に行動できるとみなされる人間に対して、どれほど機関としての大学が介入できるかはわかりませんが、適度な介入は、学生の能力を高めると思いますし、それは大学にとってもいくらかプラスになるのではないのでしょうか。ただし、自由に、主体的に、倫理観をもって学業に専念できる環境を学生に提供することが、やはりなんといっても、最重要だと私は考えています。

- ・たくさん授業を取ってしっかりと勉強してきたつもりではありますが、それがどのような形で身に着けることができているのかが、自分にはわからないという状況です。

- ・出席管理・エフォート管理等の強化により、自学自習を基調とするスタイルはそのうち減ぶ。

- ・専門分野に精通すること、幅広く人文学の教養を深めることの両立は、学部卒では不可能ではないかと思った。逆に、努力次第では片方達成することはできるようにも思った。また、教員の方々は、昨今の大学執行部による大学人としての良識を疑う行為、生活を破壊する行為をどう捉えているのでしょうか。沈黙と追従？

- ・老朽化している文学部東館がもったいなく思われる。耐震性も不安なため、解体して建て直すべきではないだろうか。
- ・教務が閉まるのが早い。
- ・卒業論文の提出期間は考えなおすべきかと存じます。
- ・大学の文学部で「社会的常識」を疑わなかったらどこで疑うのか。
- ・ありがとうございました。
- ・大学生活、最高に楽しかったです！

アンケート名 平成29年度卒業生アンケート

部局 文学部

対象者数 224

回答者数 199

回答率 88.8

結果 (Q.01) あなたは入学前に京都大学オープンキャンパスに参加しましたか？

A: はい (99票/49.7%)

B: いいえ (99票/49.7%)

C: 無回答 (1票/0.5%)



(Q.02) 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学部での授業について、自学自習の能力が養われるような形で行われていると思いますか？

A: 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている (43票/21.6%)

B: 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている (88票/44.2%)

C: どちらとも言えない (36票/18.1%)

D: 自学自習の能力が養われるような形で行われていない (29票/14.6%)

E: その他 (1票/0.5%)

F: 無回答 (2票/1%)



(Q.03) あなたは文学部（特に所属専修）で学んだことに満足していますか？

A: 十分に満足している (62票/31.2%)

B: それなりに満足している (99票/49.7%)

C: どちらとも言えない (24票/12.1%)

D: 後悔している (13票/6.5%)

E: その他 (1票/0.5%)

F: 無回答 (0票/0%)



(Q.04) 4月以降の進路についてお聞きします。

A: 大学院進学（他大学も含む） (47票/23.6%)

B: 一般企業に就職 (109票/54.8%)

C: 官庁、地方自治体等に就職 (17票/8.5%)

D: 教員、司書等の専門職に就職 (7票/3.5%)

E: その他 (1票/0.5%)

F: 無回答 (18票/9%)



(Q.05) 文学部で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものはありますか？（複数回答可）

A: 専門的知識 (68票/14.5%)

B: 専門分野の研究能力 (57票/12.2%)

C: 自分で問題を発見し、解決を図る能力 (110票/23.5%)

D: 一般的な教養 (123票/26.3%)

E: 国際感覚 (16票/3.4%)

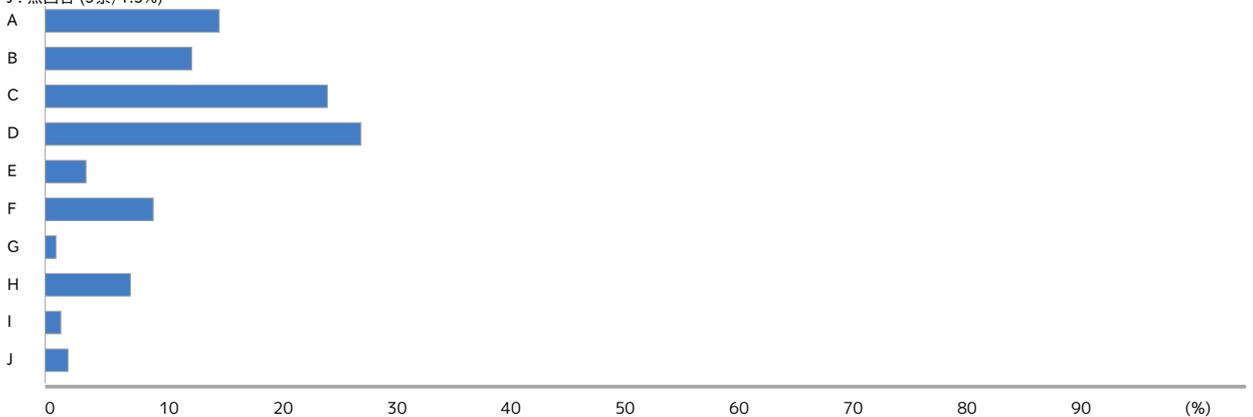
F: 外国語の能力 (42票/9%)

G: リーダーシップ (4票/0.9%)

H: 社会的常識 (33票/7.1%)

I: その他 (6票/1.3%)

J: 無回答 (9票/1.9%)



(Q.06) 差し支えなければ、あなたが所属していた系を教えてください。

- A: 哲学基礎文化学系 (27票/13.6%)
- B: 東洋文化学系 (25票/12.6%)
- C: 西洋文化学系 (17票/8.5%)
- D: 歴史基礎文化学系 (38票/19.1%)
- E: 行動・環境文化学系 (65票/32.7%)
- F: 基礎現代文化学系 (24票/12.1%)
- G: 無回答 (3票/1.5%)



(Q.07) 以下、Q.07からQ.10で、文学部のディプロマポリシーに関してお伺いします。以下の項目についてどの程度達成できたか教えてください。

人文学に関わる基礎的学識を有し、その専門領域としての哲学・歴史学・文学・行動科学について深い理解力を持ち、また学修成果を卒業論文として集大成できる問題探求能力、分析能力、表現能力を身につけている。

- A: 達成できた (23票/11.6%)
- B: ある程度達成できた (93票/46.7%)
- C: どちらとも言えない (37票/18.6%)
- D: あまり達成できなかった (32票/16.1%)
- E: 達成できなかった (13票/6.5%)
- F: 無回答 (1票/0.5%)



(Q.08) 人文学に関わる課題について、問題を発見し解決する力を持ち、創造的に取り組むことができる。

- A: 達成できた (32票/16.1%)
- B: ある程度達成できた (97票/48.7%)
- C: どちらとも言えない (35票/17.6%)
- D: あまり達成できなかった (24票/12.1%)
- E: 達成できなかった (10票/5%)
- F: 無回答 (1票/0.5%)



(Q.09) 人文学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その発展に貢献することができる。

- A: 達成できた (29票/14.6%)
- B: ある程度達成できた (87票/43.7%)
- C: どちらとも言えない (47票/23.6%)
- D: あまり達成できなかった (21票/10.6%)
- E: 達成できなかった (14票/7%)
- F: 無回答 (1票/0.5%)



(Q.10) 自由で批判的な精神と良識を持ち、人類が直面する課題を直視し、問題の解決に積極的に寄与することができる。

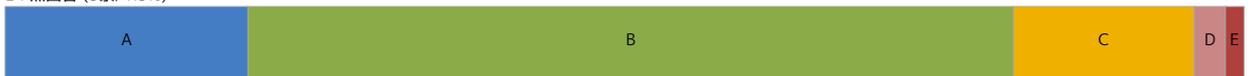
- A: 達成できた (29票/14.6%)
- B: ある程度達成できた (85票/42.7%)
- C: どちらとも言えない (47票/23.6%)
- D: あまり達成できなかった (27票/13.6%)
- E: 達成できなかった (10票/5%)
- F: 無回答 (1票/0.5%)



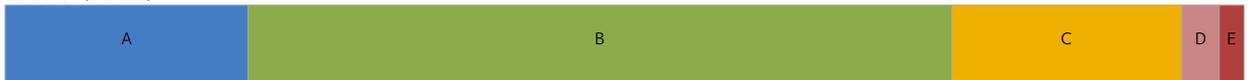
(Q.11) 以下、Q.11からQ.15で、全学共通科目の学習に関してお伺いします。入学当初と比べ、以下の項目はどの程度向上した又は得られたと思いますか。(一つ選択。無回答も許可する。)

専門以外の幅広い知識・教養

- A: 大いに向上した (39票/19.6%)
- B: ある程度向上した (123票/61.8%)
- C: あまり向上しなかった (29票/14.6%)
- D: 全く向上しなかった (5票/2.5%)
- E: 無回答 (3票/1.5%)



- (Q.12) 専門分野で基礎となる学力
 A: 大いに向上した (39票/19.6%)
 B: ある程度向上した (113票/56.8%)
 C: あまり向上しなかった (37票/18.6%)
 D: 全く向上しなかった (6票/3%)
 E: 無回答 (4票/2%)



- (Q.13) 英語の能力 (英語以外の言語を第1外国語とした方は、その言語の能力)
 A: 大いに向上した (16票/8%)
 B: ある程度向上した (77票/38.7%)
 C: あまり向上しなかった (78票/39.2%)
 D: 全く向上しなかった (25票/12.6%)
 E: 無回答 (3票/1.5%)



- (Q.14) 初修外国語の能力
 A: 大いに向上した (29票/14.6%)
 B: ある程度向上した (92票/46.2%)
 C: あまり向上しなかった (53票/26.6%)
 D: 全く向上しなかった (21票/10.6%)
 E: 初修外国語は修得しなかった (2票/1%)
 F: 無回答 (2票/1%)



- (Q.15) 将来の研究分野や進路を決める手がかり
 A: 大いに得られた (29票/14.6%)
 B: ある程度得られた (83票/41.7%)
 C: あまり得られなかった (65票/32.7%)
 D: 全く得られなかった (21票/10.6%)
 E: 無回答 (1票/0.5%)



- (Q.16) その他意見・要望等がありましたら、ご自由にお書きください。
 ●回答無し